時事新報定價
時事新報ハ一年三百六十五日ヲ休刊セズ其代價遞送料廣告料ハ左ノ如シ
一枚二錢○一箇月前金五十錢○三箇月前金一圓五十錢○六箇月前金三圓○一箇年前金六圓
○時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ送達スルモノニ限リ右定價ノ外ニ一箇月十五錢ノ郵送料ヲ申受ク
時事新報廣告料前金

一行五號活字廿四字詰	一日限	二日以上六日迄	七日以上
一行　金	十二錢	十一錢	十錢五厘

月曜日幷に大祭祝日の翌日等他新聞紙の休刊日に限り時事新報配達の求めに應ず此場合には新報代價一箇月前金八錢にして地方に郵送する分は此外に臨時の郵便印紙の代價を申受く可し

時事新報

勅撰貴族院議員

貴族院議員は曩に各府縣下に於ける多額納稅者の互撰にて四十五名を出し又伯子男三爵の撰擧にて百五名を出しなれば今後國家に勳勞あり又は學識ある者の中より勅任の事終れば貴族院議員の總數は丝に全きを告ぐるものあり貴族院令に據るに同院は皇族、公侯爵、伯子男爵中より撰擧せられたる者、國家に勳勞あり又は學識あるものより勅任せられたる者、各府縣の多額納稅者より互撰せられたる者より組織するものあれども勳勞又は學識ある者及び多額納稅者より出でたる議員は有爵議員の數に超過する事を得ずとの條條あるが故に其人員を差引すれば今後勅撰せらるべき議員の數は九十餘の定員にして即ち所謂勅撰議員あり勅撰とあれば其撰任は固より至尊の御意に在るゝとにして臣民たるものゝ敢て云々す可き所にあらざれども其身は特に聖明の卓拔を辱うし一たび其任に就くときは其職を終身にし殊に勳勞學識の光を有する者にして其地位自ら他の議員と違ひ隱然院中の重きを成すものなれば撰任の一事は最も慎重あらざる可らず然るに近來世間の所說を聞くに今の內閣大臣にして伯子男爵の撰擧に漏れたるものは悉皆勅任せらる可しと云ひ又元老院廢止の時至れば今の議官の過半は入て貴族院の椅子を占む可しあと院の開設早々直に九十餘の席を充さしむるが如くに云ふものあれども我輩の私見を以てすれば勅任の趣意は強ち此の如き意味あらざる可しと思はるゝ其次第を述べんに抑も國家に勳勞ありと云ふ其所謂國家の勳勞なるものは決して容易の事にあらず今の大臣の地位に在る人々は今の政府に對して政治上には何れも多少の功勞あるゝとならんなれども經世家の眼より見て眞實國家に勳勞ありと認む可きものは指を屈する程なりと云はざるを得ず元老院の議官とても之と同樣の次第にして流石に多年政治の經驗には乏しからざる事あらんなれども多年經驗の故のみを以て國家に勳勞あるものと認む可らず況や學識の一事に至りては政治上の經歷と全く縁の無きものなれば今の政治の當局者を以て勳勞學識の資格を有す可き勅任議員に擬するものは之を目するに僭越を以てせざるを得ず然らば則ち其撰任の方案は如何と云ふに今の當局者中にも眞實國家に勳勞あるものもあり又は學識に富めるものも少からざれば是等の人々は勿論其任に當りて差支なきゝとあれども眞實の勳勞學識ある者は政府部內は申す迄もなく廣く之を日本全國中に求むるも其人を得るゝとは中々容易ならざるのみならず一度び撰任せられたるものは終身其職に在るゝとなれば若しも一時に九十餘の席を充し一の空位もあらざるに於ては他年一日其人を得るに當りて後悔の虞もなきにあらざれば目下の處は強ひて其席を充すゝとを求めず多少の空位を設けて以て未來の人を待つも可ならんか人或は說を為して此の如くなるときは貴族院議員の人數に不足を生じ衆議院に對して權衡を失するゝ至らんなど云ふものあれども決して憂ふるに足らず兩院相對して其組織權限の外に互に重きを成すものは單に議員の數の多少に在らずして却て其院內に重きを成す議員の數の多少に在り而して貴族院內に重きを成すものは他人にあらず即ち勅任議員の人々に在るゝと事實疑ふ可きにあらざれば此一點より見るも其撰任を一時に急がず多少の空位を設けて未來の人物を待つは取も直さず貴族院の體面を保つ所以にして所謂勅任の精神も亦ふの邊に存在する事ならんと我輩の窃に忖度する所あり

雜報

○獨逸新宰相の治績　曩に獨逸大宰相ビスマーク侯が其職を辭するや歐洲の新聞は勿論我日本の諸新聞にも種々評論を下して今にも歐洲の政海に一大波瀾を揚げんとする有樣なりしが伯林發の近報に據ればカプリヴィ將軍はビ侯の後を襲ぎて大宰相の椅子に着きし以來世人の杞憂に反し歐洲大陸は申すに及ばず獨逸國內に於ても別に變動の模樣見えず思ひの外評判宜しく今日の調子を說らざれば內治はビ侯在職の時よりも却て見るべきものあるやも計られず併し將軍とビ侯とは同日の論にあらず侯の勳功聲望は遙に將軍の上にあれども將軍は溫和にして人に愛せらるゝの風あり現に國會の如き反對黨の勢力頗る盛なる議場に臨んで其意見を述ぶる時にも甚しき駁擊を受くるゝと少なくして閣僚の結果を見るを常とす左れど國民は將軍を指して皇帝を輔佐する大宰相にあらず帝の使命に默從する秘書官なりと評せりと

○暹羅國王族の漫遊　暹羅國王第三の同母弟クロマプラ パヌワンシーソワンオングス親王は東洋漫遊のことを思ひ立ち二名の王族と六名の從者を伴なひ去月二十七日盤谷府を出帆して本月四日香港へ着し廣東府、マコチ港等を一覽し再び香港に戻りて同十三日獨逸郵船に搭し直に橫濱へ向け渡航の豫定なれば近日來着すべし但し同親王は全く微行漫遊の所存あれども本國にて軍務總督の任を帶べるゆゑ日本へ來着の上は陸海軍の制度を觀察する積りのよし其滯在は大凡ろ廿日間位にして歸途は上海を始め支那の要港を歷遊し總べて六十日間位の見込にて歸國する都合あり尙は我が西本願寺より同國に居留中なりし生田得能氏も同親王の漫遊に付其案內かた〳〵船便は違ひたれども此程既に神戶に歸着したるよし

○橫濱英字新聞條約改正を評す　去る十六日の橫濱ガセット新聞は日本の條約改正を評論したり其大要に曰く日本は暫時延期の後再び條約改正談判を始めたるが如し今回日本の提出したる改正案なりと云へるものゝ運命を見るゝと容易あり吾人の考ふる所に據れば其結果は以前の如く成就せざるならん是等の改正案は倫敦タイムスに依り自國をして一の眞正なる保護を含まざる約束に一致せしめんと試むる東京通信者の公にしたるものにして在日本の外國人は之を見て驚かず何んとなれば英國と日本との問題に關してタイムス新聞の素振は徹頭徹尾日本の權利新聞よりも一層強く日本に偏すればなり通信者が草したる意想は決して英人の意想にあらずして亦日本に於ける外人の意想を代表するものゝあらずして日本人の願望の反射に過ぎざるのみ蓋し其根本は日本の外務省より出てたるならん此より前同省は其政略を援くるならんとの空望を抱きて外交上の秘密を洩し大隈伯在職の時タイムスの通信者に提出案の要領を與へ之が為に其計畫を破ぶるに至りしが今日も亦同樣の政略を行はんとするが如し元來本國の人民はタイムスの通信に伴ふ事情を知らざるが故に其通信の眞僞を鑑別する能はざれども當地の外國人は東京より送りたる通信書に相應の價を附するを得べし吾人はタイムスの東京通信を讀んで昨年日本政府より提出したる條約に附屬せしプロマチック ノート中にある二箇の主要なる保證の內一箇は今や取去られたるを知る同通信者は大隈伯の改正案が着々歩を進めし時に當て熱心に日本の為めに辨護し日本が許さんとせし外國法官任用は大切なる保證なるを述べたりしに今や之を指して「殆んど價値なし」「決して眞價を有せず」と云へり彼は亦「賢しき英國人は外國法官の保證の存廢に頓着せざれども日本に取りては之れ無くんば國民の歎びとなり之れ有らば國民の不滿足を來す」と云ふ之に依て見れば前に甚だ大切なりしものが今や俄に價値を失ふ譯なれども此の辨解は諸外國を勸誘するに足らず吾人は總ての外人と共に纔に日本の提出したる外國法官の保證を敢も大切なるものとして注目し今も尙ほ注目す而して賢しき英國人は外國法官の保證に頓着せずと云ふは全く誤なり若し通信者が述べる如き人を以て賢しみき英人とすれば在日本の英人は總て愚人の中に數へらるゝならん今日日本に於て西洋人の意思を以て裁判官を觀察し全く適當なるものなりと明言する外國人あるか抑も大隈伯は許與せんと欲し伯の後任者は取去らんとする保證に反對して持出されたる憲法上の口實は如何に不條理なるかを示す事實は未だ忘却せられざるが故に吾人は此に再び論ずるの要なし而して外國法官の保證を存すれば日本國民の不滿足を來すならんかあれども吾人は自分等に能與せられざる平和幷に幸福の內に入るよりは寧ろ外國法官の保證を得るか然らざれば現條約を保存するゝそ得策にあらずや英國は一度男子を獄きし浮氣の婦人と交を結ばんが為に其人民を苦めざるゝあらん又成文法律に相應の價値を附するならん猶又偏頗なる提出案の為に自國を困難に陷らしめざるならん而して東京駐在の英國公使は英國の利益幷に名譽を失ふ事に就て論述したる報說を謹別するゝあらん蓋し日本は適當なる精神を現はすの準備を調ふるまで條約改正問題を內閣の上に束ね置くを得べし何んとなれは英國は他の締盟各國と共に日本政府の雇使する數多の東京通信者の想像說に頓着せず充分に自國の臣民を保護する條條を失ふて和親を厚くせんよりは其條條の存在を重んずるゝあらんなればなり云々

○妨好の法難し　試驗に別人を出し試驗官の眼を瞞ます不幾の及第者を防がん為め去る八日司法大臣の告示ありて代書試驗志願者は裏に氏名を自筆したる寫眞を檢事へ差出す事に相成り先づ是なれば安心に見ゆれども不正を働く程の者の中には一筋縄で行かぬものゝある可し如何さま本人の寫眞と筆蹟と前以て檢事の手に在るときは不得手なる課を他人に賴み我は都合好き他の課に出で又は筆記試驗に出し試驗出願よりしめサア驚樂とならば寫眞も左まる以上は數多き中顯はすゝと容易ならず如何に〳〵と責も無理あらずと云へる倒あらんと云へり

○大久保子の葬儀　久保一翁氏の長子は去る六日の出水を生じたれば松め必らず其だしきを出したる折柄遂けしかば是非町の自邸へ廻送として同所に出棺にて青山墓地へ向け渡航の豫定なれば現條約を保存するゝそ得策にあらずや英國は一度男子を獄きし浮氣の婦人と交を結ばんが為に其人民を苦めざるゝあらん又成文法律に相應の價値を附するならん而して東京駐在の英國公使は英國の利益幷に名譽を失ふ事に就て論述したる報說を謹別するゝあらん蓋し日本は適當なる精神を現はすの準備を調ふるまで條約改正問題を內閣の上に束ね置くを得べし何んとなれは英國は他の締盟各國と共に日本政府の雇使する數多の東京通信者の想像說に頓着せず充分に自國の臣民を保護する條條を失ふて和親を厚くせんよりは其條條の存在を重んずるゝあらんなればなり云々

○妨好の法難し　試驗に別人を出し試驗官の眼を瞞ます不幾の及第者を防がん為め去る八日司法大臣の告示ありて代書試驗志願者は裏に氏名を自筆したる寫眞を檢事へ差出す事に相成り先づ是なれば安心に見ゆれども不正を働く程の者の中には一筋縄で行かぬものゝある可し如何さま本人の寫眞と筆蹟と前以て檢事の手に在るときは不得手なる課を他人に賴み我は都合好き他の課

○橫濱茶況　は